

青年期に血圧が高い男性は心臓血管病を発症するリスクが高くなる

青年期の血圧と将来の心臓血管イベントとの関連については十分にわかっていない。本研究では、スウェーデンの軍人のデータを用いてコホート研究を実施し、青年期の血圧とその後的心臓血管イベントリスクについて検討した。

1969～1997年に徴兵された青年期の男性 1,366,519 人(平均年齢 18.3 歳)が対象となった。血圧レベルは 2017 年の米国心臓病学会/米国心臓協会のガイドラインに基づき判定した。試験開始時の血圧は 28.8%が血圧上昇(収縮期血圧 120-129/拡張期血圧 80mmHg 未満)、53.7%が高血圧(130/80mmHg 以上)と判定された。中央値 35.9 年の追跡期間中、79,644 人に主要複合転帰(心臓血管死、心筋梗塞・心不全・虚血性脳卒中・脳内出血による初回入院)が発生した。交絡因子で調整後のハザード比は、血圧上昇については 1.10、ステージ 1 高血圧(130-139/80-89mmHg)では 1.32、ステージ 2 高血圧(140/90mmHg)では 1.71 であった。68 歳時点での心臓血管イベント発生のリスクは血圧の上昇程度に伴い上昇し、正常血圧では 14.7%、ステージ 2 高血圧では 24.3%の者に認められた。

今回の結果から、青年期の血圧の上昇は、将来の心臓血管病のリスク上昇と関連することが示された。

出典:Annals of Internal Medicine. 2023 Oct; 176(10): 1289-1298.